

山柔協第19-301号  
平成31(2019)年4月2日

各市柔道協会等団体の長 様  
各チームの長 様

一般社団法人山口県柔道協会  
会 長 吉 岡 剛  
(会長印を省略しています。)

2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会山口県予選会  
の開催について (通知)

当協会の事業については、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
さて、標記予選会を別添の要項により開催しますので周知等について、よろしくお願  
いします。

## 2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会山口県予選会開催要項

- 1 主 催 一般社団法人山口県柔道協会
- 2 主 管 周南市柔道協会
- 3 日 時 令和元年5月11日(土) 受付：12時～12時30分  
開会式：13時

※計量(公式計量及び非公式計量)：5月10日(金) 17時00分～18時00分)

場所：徳山大学柔道場

※上記時刻による計量ができない場合は、5月11日(土)10時30分～11時30分に公式計量及び非公式計量を行いますので、申込時に理由を記載して申請してください。

場所：徳山大学柔道場

- 5 会 場 徳山大学柔道場  
〒745-0801 周南市孝田町64-2 徳山大学総合グラウンド第2記念館  
TEL0834-28-9379

### 6 参加資格

- (1) 選手は日本国籍を有し、山口県内の住居者又は在学者(勤務者)であること。
- (2) 選手は(一社)山口県柔道協会に所属し(公財)全日本柔道連盟登録者であること。
- (3) 年齢は、平成11年(1999年)1月1日以後、平成16年(2004年)12月31日以前の出生者であること。  
※2019年中に15歳から20歳になる者。

### 7 体重区分

- (1) 男子8階級  
①60kg級 ②66kg級 ③73kg級 ④81kg級 ⑤90kg級  
⑥100kg級 ⑦100kg超級 (55kg級廃止 ※)
- (2) 女子8階級  
①48kg級 ②52kg級 ③57kg級 ④63kg級 ⑤70kg級  
⑥78kg級 ⑦78kg超級 (44kg級廃止 ※)

※平成31年2月25日付け全柔連通知

### 8 試合方法

- (1) 原則として、各階級トーナメント戦とする。
- (2) 国際柔道連盟試合審判規程(2018-2020)により行う。(試合時間は男女とも4分間)  
・・・柔道衣の乱れに対する新たな罰則(指導)(平成31年3月26日付け全柔連通知関係)  
の適用等を行う場合は、別途通知します。

### 9 服 装

全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下衣、帯)を使用すること。

### 10 参加料

- (1) 一人2,000円 当日会場受付で納入のこと。
- (2) 組合せ終了後、欠場した場合も参加料を徴収する。

### 11 表 彰

各階級1位、2位、3位を表彰する。

## 12 出場資格

各階級1位、2位の者に、2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会中国地区予選会の参加資格を与える。

## 13 参加申込

(1) 参加申込は所定の申込書に必要事項を記入し、原則として電子メールで申込むこと。(申込書のエクセルファイルは、周南市柔道協会のホームページからダウンロードできます。)

(2) 申込期限は、令和元年4月19日(金)必着(以後の申込は受付けない)

(3) 申込先 一般社団法人山口県柔道協会

電子メールアドレス : yjk@c-able.ne.jp

電話・FAX 083-924-9510

〒753-0871 山口市朝田引地581-2

(4) 4月22日(月)までに受付した旨の電子メールで返信するので、当該メールが届かない場合は、4月25日(木)までに申込先にその旨連絡すること。

## 14 その他

(1) 組合せ等について

① 組合せは、当協会大会役員が行う。

② 大会には、無断で欠場しないこと。

(無断で欠場の場合は、次回大会に参加できないものとする)

③ 中国地区予選会は、令和元年7月7日(日)鳥取県立武道館(米子市)で開催される。

(2) 脳震盪等について

選手、指導者は下記の事項を遵守すること。

(脳震盪について)

① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精密検査を受けること)

③ 練習開始に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④ 当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面で事故報告書を提出すること。

(皮膚真菌症(トングランス感染症)について)

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会の出場ができない場合もある。

(3) 個人情報、肖像権の取扱いについて

① 参加申込書に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム等に掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

② 提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。

③ 参加申込書の提出により、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。